

古代東国の地方官衙と寺院

日時 2015年9月5日(土) 10時30分～16時50分
会場 東京大学本郷キャンパス法文2号館2階 文学部1番大教室
(正門から安田講堂に向かい右側2番目の建物)

日本古代の地方官衙についての調査・研究が今大きく進展している。とくに東国の郡家(郡衙)を中心とした地方官衙遺跡の発掘調査が成果を挙げてきたことを受けて、地方官衙の成立過程や、官衙と地域社会・地方豪族・交通・仏教・神祇祭祀・手工業生産などとの関係をめぐって、新たな視点が得られている。地方官衙が果たした多様な機能についても新知見がもたらされ、日本律令国家がどのように中央集権的な支配体制を組み立てたかを理解する上で、地方官衙のあり方は重要な鍵になってきている。このシンポジウムでは、古代東国の地方官衙=郡家について、最近の発掘調査成果を検証するとともに、官衙と一体であった寺院との関係に焦点をあてつつ、その実像に迫りたい。

趣旨説明	古代東国の地方官衙と寺院	佐藤 信(東京大学)
報告1	評家と白鳳寺院	荒井秀規(藤沢市)
報告2	下寺尾官衙遺跡群の調査と保存 —相模国高座郡衙と下寺尾廃寺(七堂伽藍跡)—	大村浩司(茅ヶ崎市教育委員会)
報告3	下総国埴生郡家と寺院 (昼食休憩)	山路直充(市立市川考古博物館)
報告4	常陸国那珂郡家と寺院	川口武彦(文化庁)
報告5	上野国佐位郡家と上植木廃寺	出浦 崇(伊勢崎市教育委員会)
報告6	上野国新田郡家と寺井廃寺	中村 渉(太田市教育委員会)
報告7	武蔵国橘樹郡衙と影向寺遺跡	栗田一生(川崎市教育委員会)
シンポジウム	(報告者・コメンテーター参加、司会・佐藤 信)	
コメント1		近江俊秀(文化庁)
コメント2		鐘江宏之(学習院大学)

*参加申し込み不要。参加費は無料ですが、資料代を頂く場合があります。報告テーマは仮題をふくみます。